

成田市教育委員会会議事録

平成28年4月成田市教育委員会会議定例会

期 日 平成28年4月28日 開会：午後2時00分 閉会：午後3時38分

会 場 成田市役所5階503会議室

教育長及び出席委員

教 育 長	関 川 義 雄
委 員 (教育長職務代理者)	小 川 新太郎
委 員	高 木 久美子
委 員	福 田 理 絵
委 員	佐 藤 勲

出席職員

教育総務部長	伊 藤 和 信
生涯学習部長	秋 山 雅 和
教育総務課長	鬼 澤 正 春
学校施設課長	篠 塚 正 人
学務課長	江 邨 一 男
教育指導課長	中 條 専 一
学校給食センター所長	後 藤 文 郎
生涯学習課長	田 中 美 季
生涯スポーツ課長	大 矢 知 良
公民館長	神 崎 良 浩
図書館長兼視聴覚サービスセンター所長	池 田 桂 士
国家戦略特区推進課長	木 下 敬
生涯学習課副参事	木 川 邦 夫
教育総務課課長補佐 (書記)	鈴 木 浩 和

傍聴人：0人

1. 教育長開会宣言

2. 署名委員の指名 高木久美子委員、佐藤勲委員

3. 前回議事録の承認

4. 教育長報告

主催事業等

○3月28日 平成27年度末成田市教職員辞令伝達式について

全委員出席のもと開催され、内容は周知のことと思うので報告は省略したい。

○3月28日 平成28年度成田市学校サポート教員・健康推進教員辞令交付式について

学校サポート教員41名、健康推進教員12名に辞令交付を行った。内容については全委員が参加されたので省略したい。なお、健康推進教員のように、養護教諭の仕事をサポートする制度は他市町ではあまり例がなく、成田市独自の制度と言える。県全体で児童生徒数の減少に伴い、学校が統合されるなど閉校になる学校が出ていて、学校一人配置の養護教諭については、再任用制度もあることから、新規採用しなくても人員が足りてしまうということもあって、養護教諭志望の方には、本当に貴重な職になっている。

○4月 6日～8日 成田市立小中学校入学式について

教育委員の皆様には、入学式への出席についてご協力いただいたところだが、私は、下総みどり学園、久住中、大栄幼稚園の入学式、入園式に出席した。下総みどり学園では7年生が1年生の手を引いて入場するという独自の方式で今年も実施された。通常なら7年生は中学校の入学になるところだが、これが、小中一貫教育校の独自の方式であり、3回目の入学式を迎えて、あたりまえのこととして定着してきたようにみえた。また、校歌斉唱は小中一貫校でなければ味わえない独自の良さがあり、感銘を受けた。久住中では入学者が30名足らずで、1学級編制。小規模校らしいゆったりとした時間の経過と丁寧な式典が印象的だった。ある程度の規模の中学校ではブラスバンドの演奏で入退場したりするものだが、それもない。小規模校の良さがあると同時に、他校でできることがここではできないこともある。大栄幼稚園では3歳児からの入園ということだが、年中、年長のお子さんも何人か入園されていて、これはこれで優しい言葉遣いや温かさに触れた良い式であった。委員の皆様の入学式参加状況についても後

ほどお話しいただければと思う。

○4月12日 平成28年度施策説明会（校長部門）について

全委員ご出席されたので、内容については省略したい。ただ、昨年度末に8名の校長先生が定年退職され、同時に他市町や行政機関への異動などもあって、今年度当初は、新校長9名を含む大幅な入れ替えとなった。同時に、女性校長も10名となり、全体の28.6%を占めるようになった。今後の活躍に期待したい。

○4月13日 平成28年度施策説明会（教頭・事務職員部門）について

前日の校長部門で行われた施策説明を、今度は各担当課長が説明する会である。私は冒頭の挨拶だけの出席だった。とにかく子どもと寄り添いきめ細かく子どもを見ること、どんな職にあっても目的は同じ。子どもをより良く育てること。教頭と事務職員は常に連携を密にして仕事をすることが大切という話をさせていただいた。

○4月20日 平成28年度第1回総合教育会議について

全委員が出席されているので特に報告はすべき内容はない。

○4月22日 家庭教育学級運営員会議について

市内の小中学校並びに幼稚園、保育園併せて66学級の家庭教育学級主事並びに家庭教育学級運営委員の方々がお集まりになり、担当から家庭教育学級の進め方等について説明を行った。私は最初の挨拶のみで離席させていただいた。家庭教育学級が子育てで悩む親同士をつなぐパイプ的な役割を果たせるよう、期待したい。

○4月26日 国際子ども絵画交流展第1回実行委員会について

今年度第1回目の実行委員会が開かれ、委員長に小泉市長、副委員長に私が就任することが了承された。毎年この第1回目の実行委員会で、子ども達から募集する絵画のテーマが決められるが、今回は事務局から提案したものではなく、委員から出された、「友情 (friendship)」と決まった。その理由としては、熊本の大地震で苦しんでいる方たちを励ましたいという思い、オリンピックイヤーで、世界の選手たちが共に友情を育ててほしいという思いの両方から、最も適当と判断されたもの。今年も海外作品を含め大勢の子ども達からの作品が集まることを期待したい。

その他

○3月28日 平成27年度末辞令交付式について

四街道市にある北総教育事務所別館にて北総教育事務所管内の退職教職員と新規採用教職員に辞令が交付された。退職者の内、勤続25年以上の経験者は、北総管内で224名。若年退

職者数を含めるともっと多くなるが、新規採用者は164名という状況であった。退職者数の割に新規採用者数が少ないのはそれだけ学級減、つまり児童生徒数が減っているということ。今後もこの傾向は続くものと思われる。この日は、退職者を代表して成田小の小館校長が挨拶されたが、大変気持ちのこもった挨拶で、教員としての道をまっすぐに生きてきた思いが強く感じられ、感動した。

○3月28日 日本ボーイスカウト千葉県連盟成田第一団菊スカウト顕彰会について

菊スカウト章とは、公益財団法人ボーイスカウト日本連盟が定めた名誉章でボーイスカウト部門（小学校6年生から中学校3年生までの4年間）では最高地位の位置づけを持つものだそう。この章を獲得するには社会生活や野外活動、リーダーシップなど数多くの様々な課目をクリアし、その課目に合格したことを認定されるたうえで、最終面接をクリアしなければ与えられない特別な章だということである。今回ボーイスカウト第1団から女性1名を含む4名がこの章を受け、市長を表敬訪問されたものである。団内では後輩のお手本としてこれからも活動を続けたいと決意を語っていた。

○3月29日 公益財団法人印旛郡市文化財センター第95回理事会について

印旛郡市文化財センターで第95回目の理事会が開かれた。内容は平成27年度の事業計画の変更と補正予算、平成28年度の事業計画と収支予算、印旛郡市文化財センター事務局長の選任について、が主な議事内容だった。文化財センターの取り扱う事業が年々減ってきていることはこれまでも報告してきたが、昨年度事業も予定通りの執行ができず、当初見込み額から四千万円以上の減額補正をしなければならない状況である。理由としては、管内各市町で予定されている事業が思うように進んでいないことが挙げられる。今年度は成田市において、国際医療福祉大学医学部の附属病院建設予定地である、畑ヶ田地区の用地における埋蔵文化財調査も計画されているなど、大規模調査事業がいくつか予定されていて、これらの計画が予定通り実施されれば、多少なりとも文化財センターの運営には幾分助けになるが、今後の見通しは決して明るいものではない。本財団の存続をかけて、しばらくは厳しい状況が続くものと思われる。

○3月30日 千葉県教育委員会教育長面会について

県教育長、教職員課長等県教育委員会関係者に対し、市内教員の飲酒運転による事故について、謝罪をおこなってきた。当該教員による事故についてはすでに周知のとおりだが、結果的に懲戒免職という大変重い処分を受けた。このことにより、教員の信頼を損ね、多くの仲間たちにも迷惑をかけた。もちろん県教育長をはじめ、関係の方々にも同様に迷惑をかけた。そのことについてお詫び申し上げ、今後の事故防止に全力を尽くすことを約束して帰ってきた。と

はいえ、今回の事故はでき得る限りの方策を尽くしたにもかかわらず起きてしまったものであり、当該教員の所属する学校の校長や教頭の監督責任を問える内容のものではない。タクシーで自宅まで送り届けられて、何故その後、車を運転し出したのか、本人もその理由がわかっていない。というか、はっきりとした意識がないまま車を運転している。こんなことも起こり得る、と言うところまで、学校の管理者は自覚しなければならないのか、やりきれない思いである。県教育長も同様の思いでおられた。せめてもの救いは、被害者が幸いにも軽症だったこと、事故を起こした教員の学級の保護者が、処分の軽減を求める嘆願書を出してくれたことである。こうした方々の信頼を裏切ったことの罪は重い。

○3月31日 平成27年度成田市職員退任式について

平成27年度末退職者お一人お一人に対して、辞令の交付を行った。平成27年度末をもって退職された方は54名だった。この中には、学校に転出した職員7名を含んでいるが、ここ数年、大勢の方の退職が続いている。現在は、定年退職しても年金が支給されないため退職後は収入がなくなる。そのため再任用という形で、再び行政の職につく方も多いが、とにかく健康に過ごしていただくことが第一。そして、これまでのご苦勞が報われるよう、第二の人生を楽しく歩んでいただきたいものである。

○4月1日 平成28年度新規採用職員入所式について

前日の退任式に続き、この日は新規採用職員の入所式があった。新規採用職員は行政職60名、消防職8名の計68名だった。それぞれ難関を突破して成田市職員になったのだから、成田市民のため、全力で頑張っていたいただきたい。人は環境で育ちが変わる。良い職場づくりに貢献したい。

○4月2日 第8回女子サッカーフェスティバルについて

毎年4月初めにこの大会があって、開会式に参加するとともに、試合も見学させてもらっている。この日は咲き始めた桜も思わずしばみたくなる寒さだったが、女子サッカー選手の元気あふれるプレーぶりを見ていると、気持ちも熱くなる。いつの日か、オリンピック出場を逃したなでしこジャパンの屈辱を晴らす選手がこの中から登場してくれることを期待したい。

○4月4日 国際医療福祉大学成田キャンパス開学式・入学式について

国際医療福祉大学のキャンパスに入るのは初めてだったので、大変興味深かった。入学式では理事長が職員を紹介してくれたが、大変素晴らしい経歴をお持ちの方々がずらりと並んでいて驚いた。まだ、最初の入学生が入ったばかりだが、これから毎年学生が増えていく。若い人が増えるということは街にも活気が出るということだ。本市の教育も、この大学と連携して取り組めることがいろいろとあるだろう。是非積極的にかかわっていききたい。

○4月 5日 第86回郷陽会展について

4月5日～4月10日までの6日間、スカイタウンギャラリーで開催。歴史のある絵画展である。見応えもあって、是非大勢の方に見ていただきたいと思った。会場がスカイタウンの4階、5階が展示会場ということで、一般の方には敷居が高いのかもしれない。もっと自然に、より多くの方々が足を運んで下さるようになるには、まだまだ時間が必要かもしれない。こうした催しを数多く行いいつも何かやっている、という状況をつくっていくことが大事なのだと思う。

○4月12日 平成28年度千葉県市町村教育員会教育長会議について

毎年度初めに開催される、県内全市町村の教育長を集めての教育施策説明会である。県教育長から主な事業概要の説明を受けた後、各課長からそれぞれが担当する施策の主なものを説明して頂いた。

○4月15日 印旛地区教育委員会連絡協議会平成28年度第1回定例常任委員会及び第1回教育長会議について

今年度最初の常任委員会だった。協議事項は印教連の定期総会に関する件のみ。連絡・報告事項として、今年度の教科書採択の事務局となる白井市から、今年度は附則9条本のみ採択となること、また、専門調査員の推薦について、教科書会社との関連のない者を、という話があった。また、印教連関係の事務局については、本市が引き続き引き受ける予定であること、研修視察は四街道市が、教育功労者表彰式は印西市が担当する予定であることが報告された。引き続き行われた教育長会議では、北総教育事務所藤井次長より北総管内の学校、人事の状況等について、また、本年度の北総教育事務所の重点目標等が示された。北総地区では少子化の進展により、年々学校数が減少し、小中学校数については、今年度は昨年度から3校減って257校ということだった。今後も成田市大栄地区の小中学校統合も含め、平成32年末までには14の小中学校が閉校する見込みだということであった。また、印旛地区では、校長の退職者も昨年度末から3年間で現在の56%が入れ替わるということだった。北総教育事務所の重点目標は、安全・安心で信頼される学校づくりの推進、学習指導要領の円滑な実施に向けた支援の充実、適正な事務処理等の徹底の3点だということだ。

○4月15日 千葉県都市教育長協議会平成28年度定期総会について

千葉県内の市教育長で構成する協議会の定期総会があった。ここで、来年度新役員が決まった。会長は船橋市の松本文化教育長、副会長に印西市の大木教育長と館山市の出山教育長が選任された。

○4月16日 平成28年度成田市文化団体連絡協議会総会について

中央公民館にて文団連総会があり、出席した。今年、新規に文団連に加盟が認められた団体は2団体。しかし、退会することになった団体が5団体あり、少しずつだが毎年会員数も減少気味である。新井会長さんをはじめとして、元気な方も多いが、高齢化の進展は著しい。

○4月16日 成田市スポーツ推進委員委嘱状交付式・平成28年度成田市スポーツ推進委員連絡協議会定期総会について

市民がスポーツを楽しみ、スポーツを通じて健康の増進を図るとともに、豊かな人間関係を築くきっかけづくりができるよう、活動を続けているスポーツ推進委員の委嘱状交付式と、推進委員連絡協議会の総会があった。委嘱させていただいたスポーツ推進委員は38名で、体育指導員時代から長年続けていらっしゃる方で最も長い方は30年にもなる。また、今回初めて委嘱を受けた方は9名であった。市主催のスポーツフェスティバルやPOPラン大会でも中心になって活躍していただいております、会長に再任された菅沢さんをはじめ12名の役員の方々には、特にご苦勞をおかけするが、スポーツ推進委員は市の非常勤特別職でもあり、その使命を自覚し、ご活躍いただきたい。

○4月23日 平成28年度一般社団法人成田市体育協会定時社員総会・平成27年度一般社団法人成田市体育協会表彰式について

一般社団法人となったのが昨年。今年は第2回目の定時社員総会となった、非常に多くの競技団体を抱える体育協会であり、法人化され、事務局も独立して持つことになって1年。まだまだ前途多難な状況といえるが、会長に再任された門馬氏のもと、各団体がまとまって競技を続けられるよう、市としても支援していかなければならない。なお、今回の役員改選で、これまで業務執行理事であり、専務理事として財団設立に尽力された風間勝也氏は、体育協会の組織の中に新たに位置づけられた総務委員会の委員長として体育協会の運営に携わることになり、後任の専務理事には遠山中学校の佐々木校長が選ばれた。学校と体育協会、それぞれの運営に関わるのは容易ではないと思う。学校運営を第一とするのは当然だが、どちらも中途半端にならないよう頑張ってください。

○4月26日 印旛地区教育委員会連絡協議会平成28年度定期総会について

全委員さん出席のもと開催したので、特段報告の必要はないものと思う。ただ、事務局運営を指導主事や管理主事の在籍人数が多いという理由で、成田市か佐倉市で行っているという実態については、今後見直す必要があるものと考えている。

《教育長報告に対する意見・質疑》

佐藤委員：私は成田中学校と玉造中学校の入学式に出席させていただきました。成田中学校で

は2階にブラスバンドが構えていて厳肅な雰囲気の入學式で、在校生代表の歓迎の言葉も立派で、また新入生も凛々しくとても素晴らしい誓いの言葉でした。玉造中学校では新任の校長先生が、担任による呼名の際、名簿を指で追いながら、生徒の顔を見ていました。また、来賓紹介ですが、どちらの学校も来賓は多かったのですが、成田中学校では全員の名前を呼びました、玉造中学校は配付した名簿によるものとして、全員の名前を呼ぶのは省略しておりました。私個人としては式の進行上も名簿によるものでいいのではないかと感じました。学校によっては伝統として捉えているところもあるようですが、一考の余地があるのではないかと感じたところです。

先月の教育委員会議定例会の後、大規模改造工事を終えた校舎を視察させていただきましたが、素晴らしいと思うところと疑問を感じるところがありました。建築に関して学校の先生方は素人なわけですから、いろいろな希望を出してきたとしても、建築の専門家の方から適切なアドバイスをしていただいた方がいい場合もあるのではないのでしょうか。

また、教職員の飲酒運転による不祥事の件では、先ほど教育長報告にありましたが教育長が学校や校長を責めるのではなく、学校としてはやるだけのことはやったにもかかわらず起こってしまったというスタンスでいていただいたことに安心しました。教育委員会は上からの高圧的な態度であってはいけないと思います。教育委員会は学校や教員を指導するとともに、守るという立場でいなければ、相互の信頼関係は保てないのではないかと考えております。

先日の印教連の総会での小川会長のあいさつの中で、昨年度の教科書採択における不適切な対応について、教育委員会としてみんなで考えていかなければならないという強い意思表示がありました。これは皆さんも深刻に受け止めていたと思います。このあいさつをお聞きできただけでも、総会に出席した意味があったのではないかと思います。

福田委員：小学校2校の入學式に出席させていただきました。向台小学校では新入生がパイプ椅子に座っていたため、床に足が届かずにぶらぶらさせていたこと対して、式の終了後来賓室で批判的な意見が出ていました。式の最中、足をぶらぶらさせることに集中し、来賓の方の話を聞いていない様子でした。去年までは児童用の椅子を使っていたようですが、不足する吾妻小学校へ移動してしまったため今年はパイプ椅子を使用したということでした。来年は新1年生の教室から持ってきて使用したいとのことでした。

たが、余分な椅子があるのであれば各学校に置いておいてもいいのではないかと感じました。加良部小学校もパイプ椅子を使っていたようですが、公津の杜小学校では1年生用の椅子を使用し、床に足が着いていたので落ち着きがあつてよかったです。公津小学校は15人の新生で、一人一人が上級生に手を引かれて入場してきてスムーズに着席できていました。校歌斉唱では来賓席でも保護者席でも歌っている方が多く、地元の皆さんのパワーを感じることができました。4月20日には公津の杜小学校の給食を試食させていただきましたが、とても美味しく、また配膳の時間に校内を見せていただいたので、子どもたちに給食の感想を聞いたところみんな美味しいということで、私としても満足でした。前回、共同調理場施設の視察に参加できなかったことから、今後また機会があれば是非見させていただきたいと思います。公津の杜小学校の子どもたちは、みんなきちんとあいさつができていて、明るくてよかったです。

高木委員：西中学校と新山小学校の入学式に出席させていただきました。卒業式は加良部小学校でしたが、その際にはインフルエンザで多くの卒業生が欠席となってしまいました。この日の西中学校の入学式には全員が出席していてとてもうれしく思いました。雨の中の静かな入学式はよかったです。新山小学校の入学式は、あいさつ等が壇上ではなかったので、子どもたちの顔が近くに見えてよかったです。新山小学校については大規模改造工事後の視察をさせていただいた際にも感じたところですが、くもりガラスというのは閉鎖的な感じもしますし、安全面を考えても1階は見通せるガラスの方がいいのではないかと感じました。校舎北棟の工事にあたっては、是非考慮していただきたいと思います。

話は変わってサッカー場のことですが、市内にはいくつかのサッカー場がありますが人工芝でしょうか。古タイヤのチップを敷設している人工芝のサッカー場ではゴールキーパーのがんの発症割合が高いということがアメリカで話題となっているようですので、成田市内のサッカー場について教えていただきたいと思います。

小川委員：はじめにお聞きしたいのですが、教育長は4月4日に国際医療福祉大学入学式に出席されたと思いますが、新生は何名いたのでしょうか。後で教えていただきたいです。

私は吾妻小学校と吾妻中学校の入学式に出席いたしました。吾妻中学校は大規模改

造工事が半分終わり大変きれいになっており、生徒も喜んでと思います。そうした中で、落ち着いたよい入学式が行われていました。吾妻小学校は大幅に児童数が増えておりまして、在校生で始め入学式に出席していたのは5、6年生だけでした。最近の入学式では保護者が両親だけでなく祖父母が来ることもあるようで、体育館は一杯でした。1、2年生は途中から入場し、歓迎の歌や踊りがあり、3、4年生は群読を行うなどよい入学式だったと思います。4月12日の施策説明会にも出席させていただきました。今年は多くの校長先生が代わりました。校長先生方には各学校において学校経営者としての自覚を持っていただきたいと思っています。経営者とは何か、それは民間と同じように利益が出るようなそういう経営をしていただきたいということです。昔、中国の指導者、鄧小平は「白い猫でも黒い猫でも鼠を捕るのが良い猫である」と言いましたが、まったくそのとおりだと思います。教育委員会では立派な学校教育振興基本計画を策定しましたので、これに則って学校経営をしていただき、それぞれの学校で多くの利益を出し、子ども達や保護者にその配当をしていただきたいと思っています。また、公津の杜小学校共同調理場の給食を試食させていただきましたが、特にご飯が美味しかったと思います。以前、食べた玉造の給食センターで作ったご飯とは比べものにならないものでしたので、子どもたちもたくさん食べてご飯を好きになって欲しい、これはお米の生産者としての願いでもあります。最後に4月26日の印教連の定期総会のあいさつで、昨年来の教科書採択に関する問題については、教育委員会が信頼を回復していくためにもしっかりと取り組んでいかなければならないと申し上げました。教育委員会の責任は大きいと思いますので、本年度の教科書採択にあたってもしっかりとした内容で採択に臨んでいく必要があると考えております。

関川教育長：いくつかのご質問をいただきましたので、まず私の方から答えられる内容をお答えし、後は担当課長からお答えいたします。まず、国際医療福祉大学の新生の人数ですが369名でした。また、向台小学校のパイプ椅子の件ですが、私の考えとしては備品についてはできるだけ在庫は持たずに効率よく使いたいということで、入学式等のためだけに余分な椅子を持つというのはどうかと考えています。これは学校経営の中で対応すべき問題であり、私が三里塚小学校の教員であったとき、入学式の際にはあらかじめ、1年生の椅子を体育館に置いておきます。最初に教室に入ったときには子どもたちは椅子がない中で担任の先生と対面します。そして、入学式が終わったら、1年生は入学して最初の仕事として、教室に椅子を持ち帰りました。これもひと

つのやり方であって、ない場合には工夫してやっていただければと思います。今の椅子は大変軽くなっていますので1年生でも十分持つことができます。大規模改造工事におけるガラスの件については学校施設課長からお答えします。

篠塚学校施設課長：先日は大規模改造工事を終えた校舎を視察いただき、また貴重なご意見どうもありがとうございました。新山小学校では学校からの要望によりくもりガラスになりました。本年度も6月議会で議決をいただき校舎北棟の大規模改造工事を行う計画でおりますが、くもりガラスを減らす方向で見直しを行い設計いたしました。また、色の選び方につきましては、学校では校長先生一人で決めたのではなく学校の中で協議して決めていただいたものですが、どうしても小さな色見本で決めることから、大きくなった場合のイメージをつかみにくいということが言えると思います。先日の視察の後、委員の皆様のご意見を受けて、色選びのポイントを監督員となる職員に指示するとともに、注意するポイントは課内で協議しながら進め、専門的な視点をもって決めるようにしたいと考えております。

関川教育長：サッカー場の人工芝についてのご質問がありました、中台球技場は人工芝ですが、古タイヤのチップについて生涯スポーツ課長いかがですか。

大矢生涯スポーツ課長：中台球技場、ナスパ・スタジアムは人工芝です。また、テニスコートも砂入り人工芝があります。中台球技場、ナスパ・スタジアムではゴムチップを使っていますので、そういった問題があればメーカーも調査に入るとは思います。現状ではそうした話は聞いておりませんので、確認したいと思います。

5. 議 事

(1) 議 案

議案第1号から議案第7号については、成田市教育委員会会議規則第20条第1項の規定により非公開により審議する。

《これより非公開》

議案第1号「成田市学校評議員の委嘱について」

江邨学務課長：

成田市学校評議員の委嘱につきましては、全体で170名程度になるのは例年のことですが、今年度はかねてより課題となっておりました長期間に渡って同じ方が委嘱され続けることや、同じ方が複数の学校の評議員として委嘱を受けること、またできる限り幅広く意見を求めるといった制度の主旨に沿った人選とするために偏った人選とならないようにすること等、課題の解消のため各学校と個別に対応を進めてまいりました。

成田市学校評議員につきましては、成田市立公立小学校及び中学校管理規則第6条及び成田市学校評議員に関する規則第4条の規定によりまして、地域に開かれた信頼される学校づくりを目指して、校長先生が推薦する方々を教育委員会が学校評議員として委嘱しています。この制度は平成12年度から始めた事業で、これまで学校評議員は、校長先生の求めに応じて、さまざまな提言やアドバイスを行ってきています。

資料の6ページをご覧ください。規則では、評議員の人数を各学校5名以内と規定しております。市内には小中学校が35校ありますが、下総みどり学園が小中一体となった学校運営を行っていることから、みどり学園を1校と考えると、学校数の合計が34校となり、今年度は、全ての学校から5名ずつ、合計で170名の推薦がされております。複数の学校から推薦されている方はおりません。年齢構成は30代から80代まで広範囲にわたっておりまして、最も多いのが40代の49人となっております。推薦された方の男女比は、男性が57%、女性が43%となっております。今年度は62名の方が新しく推薦されました。委嘱年数の内訳は、1年目が62人、2年目が32人、3年目が44人、4年目が32人となっております。以前から課題となっていた5年以上の長期に渡る委嘱の問題は解消されております。推薦されている方の主な職種については、一覧のとおりです。

《議案第1号に対する質疑》

佐藤委員：提案された名簿を見させていただき、新任の方が多くさわやかな印象を受けました。

学務課長はじめ担当の方は大変だったと思いますが、よくやっていただいたと感じます。私は地区の方以外よくわかりませんが、いい方を選んでいただいたと思いますので、学校評議員として活躍いただけるものと期待いたします。

高木委員：学校評議員の招集、学校運営への参画等については、すべて校長先生の裁量で行っているのでしょうか。

江邨学務課長：実際の運用では、学期に1回程度の全体会議を校長先生が招集し、意見を伺うケースが多くなっております。制度上は個別に意見を伺うことも可能となっており、こうした対応については校長先生の裁量となっております。

高木委員：必ず年2～3回は集まっていることになりますか。

江邨学務課長：年3回というのが多くなっております。なお、回数の制限はございませんので必要に応じて何度も意見を受けることもございますし、全体会議は3回であっても個別の会議で意見を伺うこともあります。逆に限定した回数の中で集中的に意見を伺って学校経営に活かしている学校もございます。

高木委員：始まって15年が過ぎる制度ですが、形骸化しないように運用していただきたいと思えます。

小川委員：例年この件については、職種の偏りや任期の長期化等の問題が指摘されておりましたが、本年度は新しい方も入られることになり、学校への新鮮な意見が期待できると思えます。校長先生は学校評議員制度を十分に活用し、地域の要望や問題なども考慮した学校経営を行っていただきたいと思えます。

議長：その他、何かございますか。

特にないようですので、議案第1号「成田市学校評議員の委嘱について」を採決いたします。本議案に賛成の委員は挙手を願います。

挙手全員であります。よって、本案は承認されました。

議案第2号「平成28年度教科用図書印旛採択地区協議会委員の選出について」

《審議結果》

承認

議案第3号「平成28年度教科用図書印旛採択地区協議会専門調査員会調査員候補者の推薦について」

《審議結果》

承認

議案第4号「成田市心身障害児教育支援委員会委員の委嘱について」

中條教育指導課長：

本議案は成田市心身障害児教育支援委員会委員でありました成田市立新山小学校教諭土岐佐代子委員の異動に伴い欠員が生じたため、同委員会条例第4条の規定により、1名の委員を新たに委嘱しようとするものです。土岐委員の後任は選出区分第3号、小中学校特別支援学級担任教諭として、村井佳織、成田市立本城小学校教諭にお願いしたいと考えております。村井教諭は千葉県立印旛特別支援学校、千葉盲学校に勤務された後、市内の特別支援学級の担任として勤務され、現在は成田市立本城小学校の知的障害特別支援学級の担任を務めております。村井教諭は特別支援教育に豊富な経験と知識を有し、平成27年度は成田市教育推進特別支援教育研究部の研究部長、本年度は副部長として市内の特別支援教育のリーダーとしてご活躍いただいております。特別な支援を要する児童生徒への教育に対する豊かな経験と幅広い知識は、成田市心身障害児教育支援委員会委員としてふさわしいものと考えます。なお、任期につきましては前任者の残任期間である平成28年9月30日までの6か月となります。

《議案第4号に対する質疑》

特になし

議長：特になしですので、議案第4号「成田市心身障害児教育支援委員会委員の委嘱について」を採決いたします。本議案に賛成の委員は挙手を願います。

挙手全員であります。よって、本案は承認されました。

議案第5号「学校体育施設管理指導員の委嘱について」

大矢生涯スポーツ課長：

本案は、学校体育施設管理指導員の任期が、平成28年3月31日をもって満了となったため、学校施設利用に関する規則第5条の3の規定により委嘱するものです。

管理指導員は、小学校25校、中学校10校、全35校の教頭先生であり、任期につきましては、平成28年4月1日から平成30年3月31日までの2年間となります。

主に、学校開放利用者との開放日等の調整や学校体育施設管理等に努めていただくこととなります。

《議案第5号に対する質疑》

佐藤委員：下総みどり学園が小学校と中学校に分かれて2名となっているのは、現在の制度上によるものですか。

大矢生涯スポーツ課長：小学校体育館と中学校体育館を利用していることもあり、2名をお願いしております。

佐藤委員：義務教育学校となれば1名になりますか。

大矢生涯スポーツ課長：検討いたします。

小川委員：校長先生が多く代わった中で、教頭先生も代わっていると思います。成田市はスポーツに親しむ方が多く、学校の体育館利用者も多くなっていますが、昨年度はマナーの悪い利用者や学校とのトラブルの状況等はどうかでしょうか。

大矢生涯スポーツ課長：何か問題があれば教育委員会に教頭先生から報告がありますが、何件かあったのは改修工事等で体育館が使えなかった場合に、他の学校の体育館を使わせてほしい、しかし他の学校は部活動で使用しているので使えないという不満を持たれるというものです。いつも使用している体育館等は自分たちのホームグラウンドというような認識の利用者やチームがあります。こうした利用者には本来学校体育が優

先だということを、学校からも教育委員会からも指導しているところです。また、施設を破損してしまったこともありましたが、これは規則上も使用者が修繕することになっていきますので、使用者に弁償を求めています。

小川委員：そういうことをきちんと理解して使用してもらうには事前の説明が大事だと思いますので、新しい教頭先生には最初にしっかりとした指導をしていただきたいと思います。

議長：その他、何かございますか。

特にないようですので、議案第5号「学校体育施設管理指導員の委嘱について」を採決いたします。本議案に賛成の委員は挙手を願います。

挙手全員であります。よって、本案は承認されました。

議案第6号「成田市視聴覚ライブラリー運営委員会委員の委嘱について」

池田図書館長：

成田市視聴覚ライブラリー 運営委員会の委員につきましては、退職及び人事異動により 欠員が生じたために、委員の委嘱を行おうとするものです。

本年3月31日をもちまして、学校の代表者である 加良部小学校長 神寄諭先生と、社会教育施設の代表者である小川浩公民館長が退職されました。また、人事異動により学校教育行政の担当者である大竹誠司教育指導課長が転出され、秋山雅和生涯学習課長が、生涯学習部長に昇格されました。このことに伴い、新たに就任されました、吾妻小学校校長濱本一夫先生、神崎良浩公民館長、中條専一教育指導課長、田中美季生涯学習課長を委員として委嘱しようとするものです。

任期は、成田市視聴覚ライブラリーの設置及び管理に関する条例第9条第2項の規定により、前任者の 残任期間となりますので、平成29年3月31日までとなります。2、3ページに成田市視聴覚ライブラリーの 設置及び管理に関する条例及び成田市視聴覚ライブラリー 運営委員会委員名簿を添付してありますのでご参照ください。

《議案第6号に対する質疑》

特になし

議長：特になさうですので、議案第6号「成田市視聴覚ライブラリー運営委員会委員の委嘱について」を採決いたします。本議案に賛成の委員は挙手を願います。

挙手全員であります。よって、本案は承認されました。

議案第7号「取得した市有財産の目的変更について」

大矢生涯スポーツ課長：

本案は、平成23年10月教育委員会会議定例会でご可決いただき、同年12月市議会定例会におきまして議決を経て取得した市有財産の（仮称）畑ヶ田多目的スポーツ広場整備事業用地の目的について変更するため、議会の議決を求めるよう、市長に申し入れるものでございます。2ページから5ページの参考資料をご覧ください。用地は、成田市畑ヶ田字地蔵谷津845番、外24筆、面積は、12万3,722.25平方メートルを（仮称）畑ヶ田多目的スポーツ広場整備事業用地として、取得したものでございます。しかしながら、畑ヶ田地先については、平成25年に提案した「国家戦略特区」に係る、国際医療学園都市構想において、「学術、医療集積ゾーン」として盛り込まれ、平成26年5月には、正式に指定されたところでございます。このようなことから、議会の議決を経て取得いたしました、市有財産につきまして、「国際医療福祉大学医学部の校舎、附属施設及び、これに関連する必要な施設の用地」とするため、目的の変更をしようとするものでございます。また、目的の変更に伴い、併せて市有地の所管替えを行うものでございます。

《議案第7号に対する質疑》

高木委員：畑ヶ田多目的スポーツ広場の代替施設はありますか。

大矢生涯スポーツ課長：現在、遠山スポーツ広場の拡張整備を進めております、拡張後の利用状況を注視してまいりたいと考えております。

小川委員：私たちが当時、スポーツ広場の用地として視察をいたしました。今回はすでに取得した用地をスポーツ広場から医学関連施設用地として目的を変更するだけでしょうか。

また、用地は12万3,722.25平方メートルで足りるのでしょうか。

木下国家戦略特区推進課長：国際医療福祉大学では、公津の杜駅前に看護学部、保健医療学部が開学しておりますが、医学部校舎についても基本的に公津の杜駅前の隣の土地に建設する計画です。この畑ヶ田の土地は主に附属病院用地として使わせていただきたいということです。なお一部大学院や病院に併設して学生が学ぶための施設も建設されると思われていますが、大学ではこの用地で文部科学省に申請を行っております。

かなりの面積になりますが、夜間の救急対応のため施設内に医師や看護師の宿泊施設、また交通の便がいい場所ではありませんのである程度の規模の駐車場も必要になることから、この程度の面積は必要になるとのことです。

福田委員：この土地は現状では林野で、一体どのくらいの規模の施設ができるのか想像がつかないのですが。

木下国家戦略特区推進課長：国際医療福祉大学では病床数600床規模の病院の建設を計画しています。日本医科大学千葉北総病院がちょうど600床、成田赤十字病院が約700床ですので、病床の規模的には日医大に近いのではないかと思います。また大学の附属病院ということから、イメージ的にも日赤病院より日医大に近いのではないかと思います。医学部附属病院の場合、医療機関というだけではなく学生の実習施設、医師の研究施設としての機能も必要になりますので通常の病院よりも広い面積が必要となるということです。また、お配りした資料の図面上で北側の道路に接道するための用地と、取得済みの用地内に残る民地も新たに取得する予定でおります。

佐藤委員：医学部の校舎を病院のある畑ヶ田に建設せずに公津の杜に建設することの意味について伺います。

木下国家戦略特区推進課長：当初大学側でもいろいろ検討されましたが、医学部に先行して、看護学部と保健医療学部の開学が決まっていました。国家戦略特区の中で医学部の設置が認められたのが昨年11月ということで、その時点では看護学部と保健医療学部が公津の杜地区に開学が決まっていました。国際医療福祉大学は20年位の実績がありますが、これまでも多業種での連携した教育や、医療現場での多業種連携を重視

しておりました、そういった意味からもすでに開学した看護学部、そして保健医療学部では理学療法士、作業療法士、いわゆるコメディカルという医療周辺領域を担う職種の学生と医学生とを学生のころから一体で教育していくことが効果的であるとして、校舎は公津の杜地区に建設することになりました。しかしながら、公津の杜地区にはもう用地がないことから、校舎とは離れてしまいますが、附属病院については畑ヶ田に建設することになりました。

議 長：その他、何かございますか。

特にないようですので、議案第7号「取得した市有財産の目的変更について」を採決いたします。本議案に賛成の委員は挙手を願います。

挙手全員であります。よって、本案は承認されました。

議 長：これで、一旦、非公開を解きます。

(2) 報告事項

報告第1号「成田市青少年相談員の委嘱について」

田中生涯学習課長：

平成28年3月31日をもって第18期の青少年相談員の任期が満了となりました。千葉県青少年相談員設置要綱に基づき、第19期千葉県青少年相談員の委嘱決定を受けて、134名の第19期成田市青少年相談員が委嘱されましたことを報告いたします。任期は3年で平成31年3月31日までとなります。

《報告第1号に対する質疑》

福田委員：会長は決まっていますか。

関川教育長：5月1日に総会が開催されますので、そこで新しい会長が決まります。

6. その他

その他「英語担当教員の英語力について」

中條教育指導課長：4月20日に開催されました総合教育会議におきまして、本市の英語担当教員の英語力はどうかというご質問を受けました。当日お答えすることができませんでしたので、この場でお答えさせていただきます。

英語担当教員の英語力は、国の調査では「英検準1級程度の英語力を有する教員」として国と県レベルで公表されており、全国28%、県31%です。なお、本市では指導主事がお調べしたところ、公開はしておりませんが国のレベルと同様でした。

ただし、英検等は自費負担で自主的に受ける試験でありますので、この数字が教員の英語力を示唆するものとは言い切れません。また、「英語力」の向上は必要不可欠なのですが、それ以上に重要なのは「授業における指導力」という文科省担当者の見解もあります。なお、授業は50分ありますが「教員の英語の使用状況」について興味ある結果がありますので紹介します。公表されていない結果ですがおおよその数字を紹介します。授業の半分、25分以上英語を使って行っているという調査では、全国では49%ですが、本市においては、80%となっております。これまでの教育課程特例校として表現力やコミュニケーション力を大切にしてきた成果、あるいは全校配置されているALTの先生方の努力の成果と考えております。

《質疑》

小川委員：成田市が授業の半分以上英語を使って行っているという割合が80%となっているのは、非常に高い数値であり、ALTを全校配置したりしていることが大きな要因だと思いますがどうでしょうか。

中條教育指導課長：本市では担当指導主事が、ALTの研修会を定期的に行っております。こうした取り組みによるALTの指導力の向上も大きな要因だと思います。

小川委員：昨年の英語教育実施状況調査の結果も成田市はよかったですし、こうした成果は是非市民の皆さんにお知らせした方がいいのではないのでしょうか。

中條教育指導課長：検討させていただきたいと思いますが、成田市の情報については公表していないのでどうでしょうか。

関川教育長：英語教育実施状況調査の結果についてですが、県と国は公表しておりますが、市町村は公表しているところがない中で、成田市だけが公表しているのかということだと思います。この件に関しては市長も喜んでおられて是非周知したいというお話もありました。実際に現場にいる者としては数値を追い求めるというよりも地道に取り組んでいきたいと考えております。今の状態もいきなりこうなったものではなく、これまで何年も積み上げてきて徐々に良くなってきたものです。ただ、やはり良いものは良いとして、きちんと周知していくことも大事だと思いますので、機会があればお伝えしていきたいと思います。

佐藤委員：学校訪問で感じることですが、特に若い女性教諭の指導力を含めた英語力が発音もネイティブに近い等、素晴らしいと思います。先程、英語力と英語の指導力はイコールではないというお話もありましたが、中学生に指導するにしても憧れの感情というのは大事だと思います。生徒が先生の英語力に対して「先生、すごいな」と思うことは勉強へのモチベーションにもなると思いますので、指導力と英語力を同時に鍛えて頑張っていたいただきたいと感じました。

関川教育長：生徒の先生に対する「先生、すごいな」という憧れの思いが学習意欲につながるというのは、おっしゃるとおりだと思います。大事なご意見をいただきました。ありがとうございます。

その他「日本遺産の認定について」

田中生涯学習課長：日本遺産の認定についてご報告いたします。本年2月に千葉県より文化庁に申請しておりました、成田市・佐倉市・香取市・銚子市の4市で構成する「北総四都市江戸紀行・江戸を感じる北総の町並み」が4月19日に日本遺産として認定されました。日本遺産というのは、地域の歴史的魅力や特色を通じて、我が国の文化・伝統を語るストーリーを文化庁が認定するもので、平成27年度は18件、平成28年度は19件が認定されました。2020年の東京オリンピック・パラリンピック開催

に向けて、文化遺産を活かして地域の魅力を国内外に発信していこうとするものです。事業の具体的な内容については今後千葉県と4市で協議してまいります。本市では、生涯学習課だけではなく観光プロモーション課等と協力して進めていきたいと考えております。

《質疑》

小川委員：日本遺産の認定とは直接関係ありませんが、成田市の文化的な事業については、音楽関係のイベント等は多くありますが、演劇関係が少ないように感じます。市民が幅広く芸術、芸能に触れる機会を設けていただければと思います。

7. 教育長閉会宣言

会議を非公開とした案件についての議事録は非公開とします。ただし、会議を非公開とした理由が消滅した場合には、議事録を公表します。次の案件については、非公開理由が消滅した場合には、議事録を公表する予定です。

議案第2号「平成28年度教科用図書印旛採択地区協議会委員の選出について」

議案第3号「平成28年度教科用図書印旛採択地区協議会専門調査員会調査員候補者の推薦について」